

## 新型コロナウイルス感染について 第3報

7月22日（水曜）

表題の件につきまして、その後の経過と対応をご報告させていただきます。

当該職員が7月8日に1時間半勤務していたことを受け、中6病棟の職員および患者様全員の健康観察期間を7月21日までと設定し、さらにゾーニング、動線変更、個人防護具着用などの感染防御強化策を継続して参りました。

この間、第2報でご報告させていただきましたとおり、中6病棟職員全員、当該職員と濃厚接触のあった職員、および中6病棟入院患者様全員の、計75名のPCR検査を実施し、全て陰性の結果を得ております。

また7月21日までに、中6病棟の職員と入院患者様に、発熱などの感染を疑う症状は認められておりません。

以上の経過から、院内での感染発生はないと判断し、7月21日をもちまして中6病棟を含めた病院の感染防御対策を、通常の体制に復すことといたしました。今後とも病院全体の感染防御策を徹底し、外来・入院医療を継続して参ります。

患者様、ご家族様、地域の皆様、関係者の皆様には大変なご心配をおかけいたしました。感染防止に職員全員で努めて参りますので、何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京足立病院 院長